

岡山県立高梁高校

姉妹校交流30年

～差異の先にある人間交流～

取組等の概要



本校は、平成3年2月に、南オーストラリア州のアデレードにあるノーウッド・モリアルタ高校と姉妹校協定を結び、以来、隔年で相互訪問を行っています。現在まで両校から500名を超える生徒・職員がこのプログラムに参加し、両校間の友好・親善、また、異文化理解・国際的視野の拡大などを図り、国際理解教育を推進しています。

2週間程度の短期訪問・短期受入では、学校生活や校外研修およびホームステイ生活などを通して、言葉を超えた交流を深め、友情の輪を広げています。短期訪問を通じ、生徒の英語力向上はもちろん、オーストラリアという多民族、多文化環境に身を置くことで、生徒たちは自分たちの視野が派遣前より広がったという実感を持っています。

平成11年度には両校間で新たに長期交換留学制度を締結し、平成12年度から年に1名程度の留学生を交換することにしましたが、平成21年初めに南オーストラリア州の交換留学規定が変更になったことを機に長期留学を取りやめ、代わりに夏季留学(7月半ば～9月末)を開始しました。本校から生徒を派遣する場合は、“Foundation Course”と呼ばれる、移住して間もない生徒を主に対象とした英語集中プログラムに参加し、英語力の向上が見られる場合には、現地の生徒と同じ授業を受けています。また本校に生徒を迎え入れる場合は、彼らに対し英語科のみならず、他教科の教員も日本語の授業を担当しています。これは学校生活だけではなく、日本の日常生活に対応する日本語力を身につけさせることを目標としていますが、指導担当者の個性や教科特性が大いに反映されたプログラムになっています。

現在、姉妹校協定締結30周年を前に、協定内容の改訂作業を両校の担当者を中心に行っています。改訂には、ノーウッド・モリアルタ高校がホストとなって推進する、“Global Summit”への高梁高等学校からの参加や、両校教職員の現地視察や体験授業を含める計画も提案されています。

また、高梁市はフランス・リヨン市のアンペール高校と今年新たに教育交流協定を締結しました。この教育交流協定は、英語圏以外の国との交流を通して、高梁市内の高校生に幅広い国際感覚を身につけてもらうことを目的としています。今後、高梁高校ではアンペール高校生の受入準備等を進めていき、国際交流・異文化理解を一層充実したものにしていける予定です。